

一般内科研修プログラム

注) 新専門医制度に移行する場合は研修プログラムを変更します

1. 目標

本研修プログラムでは、プライマリーケアにおいて要求される基礎的な医学知識と臨床能力を習得し、さらに臨床現場における問題点、改善すべき点を科学的に捉える能力を育成することを目標とする。

2. 本プログラム終了後の進路

初期研修を修了してから 1 年間の本プログラムで、日本内科学会認定内科医の受験資格が得られる。所定の選考の上、引き続き当院内科研修の継続、糖尿病専門研修プログラム、内視鏡専門医プログラムを履修することができる。

3. 研修内容

- ①. 病棟患者を受け持ち、初期研修期間中に経験できなかった症例、認定内科医に必要な症例を優先して経験する。
- ②. 内科医として必要な、診察手技の取得、検査の理解と実践、診断治療の知識を習得する。
- ③. 内科一般外来、救急外来を担当もしくは指導医の下、診療し新患、救急患者への診断治療を学ぶ。
- ④. 月 1 回の抄読会を担当し、内科領域における最近の論文を提示する。
- ⑤. 内科症例検討会で症例提示をする。また初期研修医の症例提示を指導する。
- ⑥. 外科系入院患者の糖尿病管理を指導医とともに学ぼう。
- ⑦. 内科地方会などに学会発表する。
- ⑧. 安全管理の知識を病院全体の研修や回診を通して学ぶ。インシデントレポートを記載する。また医療事故分析会議 (Root Cause Analysis) に参加し、事故分析から対策立案まで経験する。
- ⑨. 院内の感染対策を理解し実践する。